

崩壊熱評価 W.G. サブグループ 会合議事録

日 時 昭和 56 年 5 月 15 日 (金) 13:30 ~ 17:00
場 所 原研東海研究所 研究 2 棟 322 室
出 席 者 中嶋(法大), 秋山(東大), 井原, 松本(原研)

議 題

1. 報告書の作成について

全体会合で提案のあった崩壊熱 FP 核データの, データブック的な性格を持つ報告書を作る。

- (1) その構成は質量毎に 1 頁にし, 今のコードによる E_{β} , E_{γ} に加えて E_{e+x} の項目を増やす。
- (2) 核分裂収率については cumulative だけでなく independent も含める。
- (3) 中性子捕獲断面積については, decay chain diagram にアイソマーまで含めて書けるようにし, その基底状態へのものとの配分比を入れる。
- (4) 核分裂収率については, 荷電分布の裾の方は重要でないので, 今まではそれ程の精度で出してはいない。これを 4 倍精度で計算し, 小さな桁まで計算上の精度は出せるようにする。
- (5) 以上の作表を計算機で行えるか否かを井原が検討する。

2. データの収集について

FP 以外にアクチナイドについても, 新しいデータを気の付き次第収集する。

3. 米国とのデータ交換

吉田氏が ANS-meeting に出席する時に, 米国側とのデータ交換の話が出た場合に応じるか否かを議論して欲しいとの要請があった。結論としては応じて良い。ただその際に, 未公開の ENDF/B-V 相当の核分裂収率データを我々としては強く希望したいと云う意見が出された。なお, England,

Schenter, Dickens らにコメントがあれば吉田氏に連絡をする。

4. 崩壊データの比較

核崩壊データの JNDC と他との比較も manual では大変な手間がかかるので、計算機を用いた処理ができればそうしたい。Tobias の値などが得られるかどうかを調べる。

5. 次回の会合予定

6月25日(木), 26日(金)辺りを予定する。